

湯沢CS通信

令和8年3月16日 第91号
(発行) 湯沢市教育委員会
学校教育課 CS担当

今年度の活動に感謝

学校運営協議会委員の皆様には、学校の課題や地域の課題の解決策を協議していただくとともに、課題の解決に向けて様々な活動をしていただきました。ありがとうございました。

さて、各小・中学校から委員の皆様が記入した「令和七年度CS評価書」を提出していただきました。次号では、それをもとにまとめた今年度の「成果と課題」について報告します。



〈お知らせ〉

これまで湯沢市公開研究会の午後に開催してきた「コミュニケーション・スクール研修会」を、来年度から「ゆざわコミスクみらいトーク」と改め、次のように開催します。

期日 令和八年八月四日(火)
会場 湯沢文化会館 中ホール
日程 一四時 受付開始
一四時二〇分 開会行事
一四時三〇分 研修会
一六時 閉会行事

参加者 校長先生(参加できない場合は教頭先生)
教職員(二〜三名)

学校運営協議会委員(二〜三名)

※新しく本市に転入した教職員、新しく委嘱された委員を優先します。

実践紹介

地域のためにドリム企画
YAMASHOカンパニープレゼンテーション
シーズン2 開催

二月二十日(金)、山田小学校でコミュニケーション・スクールの事業として開催されました。この事業には、山田小・中の学校運営協議会(ブランドイング部)が関わっています。
目的 児童の発信力や新たなことに挑戦する力を養う。
発表者 六年生十一名(4グループ)
司会 学校運営協議会委員
内容 地域の事業者(商業施設、福祉施設、農業法人)が抱える課題の解決に向けた方策についての提案。
委員の活動

I 協力する事業所等の選定と交渉
II 学習活動への協力(企画書の書き方指導、企画書やプレゼン資料作成の際の指導と助言、プレゼンへの参加)

提案事項

- ・集客力向上を図るイベントの開催
- ・マスコットキャラクターを通じたPR活動
- ・SNSの発信を強化することで若い農業者の増加につながる。
- ・「農業が楽しい」と思わせる工夫が必要。 など

土田校長先生は「自ら企画し、アウトプットする力は将来的に必要な。ふるさとを愛する気持ちを深めながら、今後その力を磨いてほしい」と話しています。